

「まほろばの贈り物」

指導者 青木 孝浩
宇都宮市立一条中学校
3年5組 31名

1 指導目標

- (1) 作品に対する自分の見方や感じ方を広げたり深めたりしながら、意欲を持って鑑賞することができる。また、日本の美術に触れることで、自分の国の美術を愛好する気持ちを持つことができる。(関心・意欲・態度)
- (2) 具体的に作品を見たり触れたりすることで自分の感じたこと、気づいたことを具体的にまとめ、意見を交換し合いながら、生活と美術の関わりについて考えようとするすることができる。(鑑賞の能力)

2 題材について

(1) 題材設定の理由

かつて我が国にも縄文や弥生といった古代の文明があったが、その遺構から発掘された土器などの遺物を見ると、現代にも通じる斬新なデザインが目を引く。しかし、その多くのデザインはあまり生徒の目には触れられていないのが事実であり、そのデザイン性を美術的に捉える機会はほとんどない。そこで、今回は縄文の土器の文様のデザインを中心に鑑賞し、当時の生活や作者の意図などを想像しながら、生活とデザインの関係を考えるきっかけができれば、と考え、本題材を設定した。

(2) 生徒の実態

文化財について興味を持つ生徒は決して多いとは言えず、土器などに触れる機会はほとんど無い。そのため、知識的に土器類の存在は知っているが、それについて深く考える機会はほとんど皆無である。本題材で、縄文土器の意匠の高さを鑑賞し、デザインと生活が一体となった様子を感じていくことで、生活に生きるデザインの存在に気づき、積極的に生活と美術の関係を考えていける生徒になれば、と思っている。

(3) 題材で育てる力

- ・作品から当時のくらしや作者の意匠を読みとりイメージを広げる力。
- ・作品をじっくりと観察する力。
- ・文様の美しさに感動し、文化財を大切に、守ろうとする心情。

3 指導計画(1時間)

- (1) 縄文土器の鑑賞会 1時間(本時)

4 本時の指導

- (1) 目 標 実際の縄文土器に触れながら興味を持って鑑賞し、文様の美しさを感じたり、当時の生活や作者の意匠についてイメージを膨らませたりしながら、自分の意見をまとめることができる。
- (2) 準 備 ワークシート、縄文土器(宇都宮市刈沼遺跡出土)、土器文様写真集のコピー

(3) 展 開

…生徒指導上の留意点 …人権教育上の配慮

過程	学 習 活 動	教 師 の 指 導 と 評 価
導 入	1. 本時の学習の進め方を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・土器を使って鑑賞のポイント，本時の目的を告げる。 ・思ったことを素直にまとめていくようにさせる。 ・縄文土器について簡単に説明する。
展 開	<p>2. 作品を鑑賞しながら，視点にもとづき，ワークシートに気づいたことを記入する。</p> <p><グループ活動></p> <p>視点カード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文様をよく観察しよう ・どんな人が作ったのだろうか ・当時の生活を想像してみよう。 <p>厚みの違いも触れられたら触れる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・触察してもよいことを告げる。 ・高く持ち上げないように気を付けさせる。 ・文様の形だけでなく，彫りの深さにも注目させる。全員が触れらるよう配慮する。 ・一つ一つ視点カードを示しながら，次の点に留意しながら1つずつ考えさせていく。 <p>何が描かれているか。文様から何が想像できるか。 どんな印象を受けるか。意匠の先駆性など 性別や，年齢，性格など</p> <p>文様は無くても道具としては機能するが，なぜ文様を入れたのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて，1カ所に生徒を集め，対話型で鑑賞しながら，理解を深めるようにしたい。 ・基本的には個人で感想はまとめるが，見るときは小グループで意見交換をしながら鑑賞する。 <p>観察が不十分な生徒には，机間巡視をしながらポイントについて何度も問いかけるようにする。</p> <p>努力が必要とされる生徒への手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机間巡視による，より細く具体的な発問を投げかける。 ・教師も鑑賞者の一人として，発見したことを共に伝え合い，意見を引き出させる。 ・何人かの生徒に発表させながら進める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><具体的な評価規準></p> <p>興味を持って鑑賞し，文様の美しさを感じたり，当時の生活や作者の意匠についてイメージを膨らませたりしながら，自分の意見をまとめることができる。</p> <p>十分満足とされる内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文様について観察して気づいたことが具体的に書いてある。 ・作った人の性格や気持ちが想像できている。 ・作成された時代背景などにまでイメージが膨らんでいる。 ・自分の意見としてまとめている。 ・生活と美術の関わりについて気づくことができている。 <p>< 5項目のうち，4項目を満たしていれば十分満足と判定する ></p> </div>
ま と め	3. 本時のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・数名に感想を聞いてみる。 ・今日の内容を振り返れるような言葉がけをする。

まほろばの贈り物

3年 組 []

縄文土器について、次の観点で鑑賞してみよう。

1. 文様はどうなっているか。また、どう感じ取れるか。(彫りの深さや、リズム感など)

<p>< 模様の手書きのスケッチをしよう ></p>	
----------------------------------	--

2. どんな人が作ったのか想像してみよう。(性別や年齢、立場、性格など)

--

3. 当時の人の生活について想像してみよう。(どんな暮らしが考えられるか)

--

今日の授業で思ったこと、感じたことを書いてください。(現代のデザインや、生活とデザインについての関係を考えながら。)

--

